

1. 事業の概要等

事務事業名	【②子育て支援】 医療費給付事業（子ども・妊産婦・ひとり親）		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	市民課
施策①	安心して子育てできる体制の充実	電話番号	0193-27-8491
施策②	子どもの育ちを支える取組の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱	子育て支援	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和9年度		
事業の概要			
子ども、妊産婦及びひとり親家庭に対して医療費の一部を給付し、適正な医療を確保することにより、心身の健康を保持するとともに、生活の安定と福祉の増進を図ることを目的とする。医療機関を受診する際に医療費受給者証・医療費給付申請書を提示することにより、保険診療の医療費一部負担金を助成するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
子育て世代家庭における、妊娠出産を含めた医療受診全般や、ひとり親家庭での医療受診において、病院医療費等の一部負担金支払いが経済的な負担となっている。
目的
医療費の一部を給付し、適正な医療受診と心身の健康を保持することで、生活の安定や福祉の増進を図る。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
医療機関等で支払う医療費（一部負担金）の支払いが不要となる。又は、診療報酬明細書ごとに対象者の自己負担額を差し引いた額を給付する。		
事業費		
R 7	R 8	R 9
120661 千円	120661 千円	120661 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
他の事業等と合わせて市の施策として広く PR すること。また、当該補助は他市町村でも広く実施されていることから、県に対し一律で負担するように要望を継続すること。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【②子育て支援】 母子保健事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭課
施策①	安心して子育てできる体制の充実	電話番号	0193-22-5121
施策②	母と子への切れ目のない支援	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱	子育て支援	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和9年度		
事業の概要			
地域内で安心して妊娠・出産・育児ができるよう、また子どもの健やかな成長を支え、見守るために各種健康診査や乳幼児全戸訪問による相談・保健指導等の切れ目のない支援を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>当市では、出生数が減少傾向にあるものの、妊産婦や子どもの発育・発達について、健康診査等で支援が必要と判断されるケースが多い。未就学児の保護者へのアンケートによると、親と子のみからなる核家族世帯が7割以上であり、その内7割以上が共働き世帯である。子の年齢に関わらず、親の半数が子育てに不安や孤独を感じており、インターネット等で手軽に情報を入手できる一方、必要な情報の選択が困難な状況にある。</p>	
目的	
<p>妊娠出産から就学までの各ライフステージに応じて、適切な情報提供と相談、健康診査等を通じて育児不安の軽減を図るとともに、健全な母子の発育・発達を切れ目なく支援することで、「安心して子育てできるまち、釜石」を実現する。また、各種健康診査や検査費等、経済的負担を軽減する。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>・母子健康手帳交付 ・妊婦及び乳児健康診査 ・新生児聴覚検査 ・産婦健康診査 ・新生児訪問、乳児全戸訪問 ・6ヶ月児健康診査 ・4歳6ヶ月児発達検査 ・幼児健康診査後の精密検査 ・パパママ準備教室、ベビーマッサージ教室 ・離乳食教室</p>		
事業費		
R 7	R 8	R 9
21575 千円	23295 千円	23295 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
<p>健診のあり方や開催頻度等は、業務量等を鑑み、医師会等関係者と十分な検討を行うこと。任意で実施している健診等の子育て施策は、他市町村との比較・釜石市の強みの見える化を行い、他事業と併せて効果的にPRすること。</p>			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【②子育て支援】 妊産婦支援事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭課
施策①	安心して子育てできる体制の充実	電話番号	0193-22-5121
施策②	母と子への切れ目のない支援	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱	子育て支援	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和9年度		
事業の概要			
<p>出産を控える女性の不安を解消し、安心して出産・子育てできる体制を整えるため、妊娠・出産に係る経済的な負担の軽減を図るほか、母親とその家族が健やかな育児をできるよう母親の不安や困りごと、身体的な負担の軽減を図る取り組みを実施するもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>県立釜石病院での妊産婦健康診査、普通分娩取り扱い休止を受け、医療圏内での健診診査、出産ができなくなったことで妊婦や妊娠を考えている女性は不安を感じており、病院までの移動距離が長くなったことで、経済的な負担が増えている。</p> <p>また、核家族化の進行や共働き世帯・就労を継続する高齢者の増加等により親族等からの家事及び育児支援を受けることや周囲の人に育児に関する相談をしにくくなっており、家庭や地域での孤立感を抱く妊産婦がいる。</p>	
目的	
<p>母親が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩みについて、助産師や子育て経験者が支援を行い、地域における妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を強化することにより安心して産前・産後期及び子育て期を過ごすことができる。また、妊産婦の通院等に係る移動費用や待機宿泊費用を助成することで経済的負担を軽減する。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
産前・産後サポート事業、産後ケア事業、妊婦応援給付金、妊産婦健康診査等アクセス支援助成金、妊婦のための支援給付金		
事業費		
R 7	R 8	R 9
31728 千円	28594 千円	28594 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
<p>妊産婦への支援は、市民ニーズや費用対効果を十分勘案し実施すること。また、子育て施策として、他市町村との比較・釜石の強みの見える化を行い、他事業と併せて効果的にPRすること。</p>			

1. 事業の概要等

事務事業名	【②子育て支援】 地域子ども・子育て支援事業(子育て応援カード事業)		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭課
施策①	安心して子育てができる体制の充実	電話番号	0193-22-5121
施策②	ライフステージに応じた少子化対策・子育て支援	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱	子育て支援	補助・単独	単独
事業期間	平成30年度～令和9年度		
事業の概要			
子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境をつくることを目的に、市内に住所がある未就学児の保護者を対象に、一時預かり保育、病後児保育、ファミリーサポートセンター、産後ケア事業を利用した際に限度額の範囲で利用することができる子育て応援カード（ホッとカード）を交付するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
未就学児が一時預かり保育、病後児保育、ファミリーサポートセンターを利用する際には費用が発生し、保護者が気軽に利用することができていない。また、毎日子育てに追われ、育児に疲れている保護者がいる状況にある。
目的
未就学児を持つ保護者の経済的負担を軽減できるように支援するほか、一時預かり等を気軽に利用してもらい、育児から解放された保護者に精神的余裕をもってもらうことにより、安心して子育てができるようになることを目的とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
子育て応援カード(一時預かり保育、病後児保育、ファミリーサポートセンター、産後ケア事業について限度額の範囲で利用することができるカードの交付)		
事業費		
R 7	R 8	R 9
837 千円	973 千円	973 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
当該事業を含めた子育て施策として広くPRし、子育て世帯が各支援を確実に受けられるよう努めること。併せて、子育て施策として有効な打ち手になっているかの効果検証を行うこと。			

1. 事業の概要等

事務事業名	【②子育て支援】 特定教育・保育施設支援事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭課
施策①	安心して子育てでできる体制の充実	電話番号	22-5121
施策②	ライフステージに応じた少子化対策・子育て支援	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱	子育て支援	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和9年度		
事業の概要			
保育士の業務負担の軽減により離職防止につなげ、また教育・保育サービスの充実を図るために、保育の周辺業務を行う職員を確保するための費用や事務負担の軽減を図るシステム導入及び施設整備等に必要な費用、障がい児の受入体制整備や施設所属職員の処遇改善等を目的とした費用に対し、補助金を交付するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
市内教育・保育施設等の運営団体の中には、運営状況がひっ迫している団体が複数があり、職員の処遇改善や運営状況の改善が望まれている。
目的
保育士の確保、保育士の負担軽減を図ることで、保育士の離職防止につながり、保育の受入体制が整う。また、安心して子育てできるまちづくりに向けて、障がいの有無に関わらず、子どもが健やかに成長できる保育体制の整備や、各運営団体職員の処遇改善を図る。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①保育業務のICT化推進、②保育支援者等の人材確保、③産休等を取得している職員の代替職員の確保、④医療的ケア児を保育する看護師等の確保、⑤児童が健やかに成長できる環境・体制整備、⑥保育等を行う運営団体所属職員の処遇改善等を目的とした補助金の交付により、こどもたちの安全安心な保育環境を確保する。		
事業費		
R 7	R 8	R 9
30993 千円	30564 千円	30564 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
国の補助メニューを有効活用しつつ、持続可能な体制で教育保育施設の面的な支援を継続すること。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【②子育て支援】 子ども・子育て支援給付事業（副食費の実費徴収に係る補足給付事業）		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭課
施策①	安心して子育てできる体制の充実	電話番号	22-5121
施策②	ライフステージに応じた少子化対策・子育て支援	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱	子育て支援	補助・単独	単独
事業期間	令和3年度～令和9年度		
事業の概要			
3歳から5歳児の子を持つ保護者を対象に、経済的負担を軽減できるように支援し、安心して子育てができるようになることを目的として、副食費の一部又は全額を釜石市が負担し、教育・保育施設へ補足給付を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
副食費（主食を除く給食等に係る費用）は、幼児教育・保育の無償化の対象となっていない。また、日用品や文房具、行事参加費等も無償化の対象となっていないため、保護者の経済的負担は依然として発生している。	
目的	
副食費の一部または全額を釜石市が負担することにより、未就学児の保護者の経済的負担を軽減できるように支援し、安心して子育てができるようになることを目的とする。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
副食費の実費徴収に係る補足給付の実施		
事業費		
R 7	R 8	R 9
15960 千円	18600 千円	18600 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
子育て支援のため継続した実施が求められる。当該給付は、ほぼ全市町村で実施されていることから、国もしくは県の一律給付となるよう要望を継続すること。			

1. 事業の概要等

事務事業名	【②子育て支援】 心豊かな子ども育成事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭課
施策①	安心して子育てできる体制の充実	電話番号	22-5121
施策②	子どもの育ちを支える取組の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱	子育て支援	補助・単独	単独
事業期間	令和3年度～令和9年度		
事業の概要			
多様な自然体験を提供することにより、子どもたちが豊かな心を持ち、郷土愛を育むことを目的として、自然体験活動を企画及び実施する民間団体等に補助金を交付するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
市内には、釜石の自然を活かした体験活動を実施している団体が複数あるが、財政難のため運営が厳しい状況である。 また、市内教育・保育施設の入所児童の保護者を対象としたアンケートを実施した結果、家庭や地域で子どもに体験させたい活動として「自然体験活動（水遊び、虫捕り、キャンプ、ハイキングなど）」が1位だった。	
目的	
自然体験活動の実施を検討している団体が財源に悩まされず、多様な自然体験の機会を提供できることで、子どもたちの豊かな心や郷土愛を育成することを目的とする。また、自然体験活動を実施する団体を市民等に広く周知し、市民の参画を促進することを目的とする。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①民間団体等の自然体験活動の企画及び実施に対する補助金の交付 ②補助金交付団体の活動や自然体験活動の大切さを周知するフォーラムの開催 ③市内の公園・遊び場を紹介するパンフレットの作成		
事業費		
R 7	R 8	R 9
800 千円	800 千円	800 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
こどもの健全育成や釜石らしい子育てにつなげるため、今後も引き続き事業を行う必要がある。新たな団体の創出・各団体の自立促進につながるようなスキームを検討し、過不足ない補助を行うこと。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【②子育て支援】 学習支援を通した子どもサポート事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭課
施策①	安心して子育てできる体制の充実	電話番号	0193-22-5121
施策②	子どもの育ちを支える取組の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱	子育て支援	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和9年度		
事業の概要			
不登校等の問題を抱える子どもが社会的孤立に陥らないよう、学習支援を通して地域の社会人等と触れ合える安全安心な居場所を提供すると共に、利用する子どもや家庭を適宜必要な支援につなげる取組を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
不登校児童生徒は年々増加しており、子どもを取り巻く環境は一層厳しさを増すとともに課題が複雑かつ複合化し、子どもの権利が侵害される事態も生じている。子ども達が安心して過ごせる環境で、学習習慣、人や社会と関わる力など、社会の自立に向けて生き抜く力を育む必要がある。	
目的	
こども達が社会的孤立に陥らないように、地域の大学生や社会人と触れ合える、安全安心な居場所として、子ども達に学習機会を提供し、学校や教育委員会、専門機関と積極的に連携し、経済面や家庭・環境に困りごとを抱えている子育て世帯を必要な行政の支援につなげることを目的とする。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
不登校等児童生徒への学習支援 対象：小中学生及び18歳以下の不登校等児童生徒 場所：学校の空き教室、公民館、児童館等		
事業費		
R 7	R 8	R 9
4070 千円	4070 千円	4070 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
不登校等が社会課題になってきている中、継続した支援が必要である。関係者と連携し、市内全域の相談・支援体制を構築すること。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【②子育て支援】 子ども居場所づくり支援事業補助金		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭課
施策①	地域の中で豊かに子育てできる環境づくりの推進	電話番号	22-5121
施策②	子どもや子育て家庭を支える地域・場所づくりの推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱	子育て支援	補助・単独	補助
事業期間	令和5年度～令和7年度		
事業の概要			
子どもの居場所づくり及び地域で子どもを見守る環境づくりの創出を図るため、市民活動団体等が行う子ども食堂等の食の提供を伴う事業に補助金を交付するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
子ども食堂などの地域の居場所は、多世代交流及び食育の場となると共に生活困窮世帯の食料支援やひとり親支援などにつながる場となっている。こども食堂やフードパントリーを行う団体は全国的に増えており、当市でも各地区で年に2回程度開催されている。	
目的	
食事の提供は、物価高騰による経済的な困難を抱える家庭の負担軽減を図ると共に、子どもの居場所の確保並びに世代間交流を促進し、地域で子どもを見守る環境づくりの取組の一つとなる。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
こども食堂等の食の提供を伴う事業を実施する市民活動団体等に対して、事業に係る経費を助成する。		
事業費		
R 7	R 8	R 9
300 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
様々な地区へ取組が広がっている点は大きな成果であるものの、現状の取組が困窮児童・生徒への支援と第3の居場所づくりという目的に結び付くか再精査が必要と思われる。事業実施3年を節目とし当該事業スキームを再検討すること。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【②子育て支援】 屋内の遊び場整備事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/地域で 支え、子どもが安心して生活できるまちづくり	担当課	こども家庭課
施策①	地域の中で豊かに子育てできる環境づくりの推進	電話番号	0193-22-5121
施策②	子どもや子育て家庭を支える地域・場所づくりの推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	新規
4つの柱	子育て支援	補助・単独	補助
事業期間	令和7年度～令和9年度		
事業の概要			
子育てしやすい環境を整えるため、子どもたちが天候に関わらず年間を通して楽しく遊び、子育て世代が交流できる場所として「屋内の遊び場」を整備するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
子どもの遊び場として、天候に左右されず子どもが安心して遊べる場所（子どもの遊び場や施設）を望む声が多く、特に屋内の遊び場が少ないという声が多くあげられている。	
目的	
屋内の遊び場を整備することにより、天候に左右されず安心して過ごすことができる。またニーズの高い屋内の遊び場を整備することにより、子育てしやすい環境がつくられる。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
市内商業施設内に遊び場を整備する。		
事業費		
R 7	R 8	R 9
864 千円	32707 千円	12000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
屋内の遊び場整備は子育て世帯からのニーズが高く、子育て環境拡充の効果が高いと評価される。他市町村の事例を参考にし、費用対効果の高い持続可能な施設整備を目指すこと。			